

平成30年度北海道大学情報基盤センター萌芽型共同研究成果報告書

1. 研究類型 B) 研究集会開催支援型
2. 研究課題名 先端ネットワーク技術に関する研究集会支援
3. 研究期間 平成30年5月8日(採択日) ~ 平成31年3月31日
4. 研究代表者

| 氏名 | 所属機関・部局名 | 職名 | 備考 |
|-------|-----------------|----|----|
| 山岡 克式 | 東京工業大学 工学院情報通信系 | 教授 | |

5. 研究分担者

| 氏名 | 所属機関・部局名 | 職名 | 備考 |
|-------|--------------------------|--------|----|
| 南 弘征 | 北海道大学 情報基盤センター | 教授 | |
| 馬場 健一 | 工学院 情報学部 情報通信工学科 | 教授 | |
| 田辺 和輝 | 東京工業大学 工学院情報通信系 | 博士課程学生 | |
| 川合 健太 | 工学院大学 大学院工学研究科 電気・電子工学専攻 | 修士課程学生 | |
| | | | |

6. 共同研究の成果

下欄には、当該研究期間内に実施した共同研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、共同研究申請書に記載した「研究目的」と「研究計画・方法」に照らし、800字~1,000字で、できるだけ分かりやすく記載願います。文章の他に、研究成果を端的に表す図表を貼り付けても構いません。なお、研究成果の論文・学会発表等を行った実績(発表等の予定を含む。)があれば、あわせて記載して下さい。

最先端の情報通信ネットワークやサイバーセキュリティに関する様々な研究課題に取り組む研究者たちによる、現在遂行中の先端技術に関する研究報告およびそれらに対する議論討論を目的として、第3回先端ネットワーク技術に関するワークショップを北海道大学情報基盤センター主催で以下のとおり実施した。

<開催概要>

第3回先端ネットワーク技術に関するワークショップ

会場:

北海道大学 情報基盤センター 北館 4階会議室

日時:

平成30年7月12日 10:30-17:15

参加者:

北海道大学情報基盤センター

南 弘征 教授
飯田 勝吉 准教授

(研究成果のつづき)

東京工業大学 工学院情報通信系
山岡 克式 教授
田辺 和輝 博士課程学生
赤岡 武 修士課程学生

工学院大学 情報学部情報通信工学科
馬場 健一 教授

小樽商科大学 商学部社会情報学科
三谷 和史 准教授

発表プログラム:

セッション1 (招待講演)

三谷和史 (小樽商科大学)
先端ネットワークを理解してもらうために
～ユーザとなる一般人に何を理解させればいいのか?～

セッション2

馬場健一 (工学院大学)
非常時における音声通話確保を目的とした新しい通信受付制御方式

田辺和輝 (東京工業大学)
次世代 IP 通話網における通話収容数向上を目的とした受付制御

セッション3

赤岡 武 (東京工業大学)・菅原真司 (千葉工業大学)・山岡克式 (東京工業大学)
将来ネットワークにおけるコンテンツ配信スケジュールのあり方

総合討論

今回のワークショップでは、本申請の代表者山岡および研究分担者工学院大学馬場健一教授を始めとした6名に加え、小樽商科大学の三谷和史准教授を招聘し、招待講演が行われた。

また、セッション終了後の総合討論では、現在の情報通信ネットワーク技術が抱える問題および今後の技術的展望に関し、各参加者による活発な議論が行われ、発表者はもとより参加者全員が、各々の専門分野にとらわれず幅広く知識を習得するに至り、参加者の今後の更なる研究発展に非常に有用となるものであった。

<本研究に関連する対外成果発表>

- Taichi Miya, Kohta Ohshima, Yoshiaki Kitaguchi, Katsunori Yamaoka. The Upper Limit of Flow Accommodation under Allowable Delay Constraint in HANETs, Proc. of IEEE CCNC2019, Jan. 2019.
- Takeshi Akaoka, Shinji Sugawara, Katsunori Yamaoka. Why File Delivery Order Change is Not Necessary at an Intermediate Node, Proc. of IEEE CCNC2019, Jan. 2019.
- Kenta Kawai, Kazuki Tanabe, Katsunori Yamaoka, Ken-ichi Baba. Emergency Trunk Reservation Control Using Waiting Queue for Accommodating More General Calls, Proc. of IEEE ICNC2019, Jan. 2019.